空山に建設予定の発電用風車に対する見解

企業局は、昨年10月空山（県営牧場）に発電用風車の建設予定を表明、「霊石山フライトエリア友の会」に対し、フライトへの影響等について意見を聞きたいとして、第1回の説明会が行われた。

その後、さらに2度に亘り説明を受けたが、風車のフライトへの影響が相当広範囲であり、内容も深刻で、後方乱流による失速により人身事故が想定されるものであった。

これらを踏まえ現時点での、「霊石山フライトエリア友の会」の見解を示すものである。

- 1 霊石フライトエリア内での、発電用風車の建設によるフライトへの影響は、スカイスポーツの里として発展してきたフライトエリアの存続そのものを脅かす可能性を有するほど多大なものであり、**現風車計画**（四六時中運転可能な気象条件下では風車を回す）とフライトエリアの共存は極めて困難であると考えられる。
- 2、エリアを喪失という事態においては、その影響が多方面に及ぶため、観光、地域振興等、多角的にその影響を分析し、その結果を基に、関係自治体、関係諸団体ならびに関係住民などと十分に協議し、鳥取県放牧場における発電用風車建設計画の是非を検討する必要があるものと考えられる。

平成16年3月20日
霊石山フライトエリア友の会